

SHOWA GAKUIN



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171-5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第11号

2012.12.22(土)

昭和学院文化祭

絆を深める文化祭
～今こそ昭和の新風を～



去る9月29日(土)、30日(日)、昭和学院文化祭が行われた。「絆を深める文化祭～今こそ昭和の新風を～」のテーマの下、全校一丸となって文化祭を盛り上げた。が、30日はあいにく台風が近づき、本来の日程が一時間短縮され、後夜祭も中止となった(10月9日(火)、「後日祭」として行われた)。その代わり、密度の濃い文化祭とするべく、皆で協力し合って催し物を盛り上げていた。中学生は「昭和学院中学校の生活」「昔の遊び」「でんじろうの理科実験&ギネスに挑戦」の展示や実演を行った。これらの企画は中学三年生が中心となり、準備と展示が行われた。企画自体も中学生が考えた。高校一年生と二年生は各クラスごとの出し物をした。お化け屋敷・金魚すくい・ゲーム・ダンス・タコス屋・アイスクリーム屋など例年より多彩な出し物となった。高校三年生はI組が有志として参加した。各部の発表も行われた。主に文化部が普段の活動成果を発表したが、美術部は文化祭用に恒例の巨大壁画(ルノワール作品の模写)を作成した。最も好評だったのはダンス部で(来場者アンケートの結果が第1位であった)、文化祭に向けて新しいレポーターも披露していた。

今回の文化祭では来場者の皆さんにアンケートに答えて頂き、高

校生の展示発表に順位をつけた。評価ポイントは、装飾、ポロシャツ、展示内容、ポスターなどだ。結果、展示内容では、一年A組・B組合同のお化け屋敷と二年E組の牛井屋が好評であった。ポロシャツのデザインでは二年E組、装飾では二年F組が高評価だった。ポスターは三年I組である。

今回の文化祭のテーマのとおり、生徒間の絆が深まる2日間となった。同時に、文化祭は多くの来賓を招き、昭和学院をお披露目する機会になる。特に今回の文化祭では、その意識が生徒にも高まっていた。生徒会が主体となり、全校生徒にアンケートを取り、学院に居なければ分からない特色をパンフレットに載せるなど、外部に開かれた学院を作ろうとしていたのが印象的だった。



SHOWA GAKUIN

校内合唱コンクール



11月5日、高校は午前中にメインアリーナで、中学は午後には伊藤記念ホールで校内合唱コンクールが行われた。

コンクール前は、朝や放課後に練習する歌声が校内に響いていた。

高校生はメロディラインを追うことだけに留まらず、歌詞の意味を理解し、感情を込め、メロディに乗せて歌い、そしてそこに美しいハーモニーを奏でることができたクラスがいくつもあり、レベルの高いコンクールであった。中学生からは元気の良さやクラスのま

とまりが感じ取れ、ひたむきな一生懸命さが合唱に表れていた。

舞台に入場し、指揮者と伴奏者とクラス全員が一体となって歌い上げ、退場していくまでの生徒たちの様子からは、この日のために頑張ってきたものを披露しようとする心地よい緊張感が伝わってきた。

結果は、中学の部では1位：3の1、2位：1の3、3位：2の5、奨励賞は3の3、1の2。高校の部では1位：2B、2位：1K、3位：1A、奨励賞は1C、2A、2D、2Jとなった。生徒たちは、この合唱コンクールを通して歌の素晴らしさを感じると同時に、チームワークや団結力の素晴らしさを知り、本番で力を発揮する精神力も養えたのではないかと。



朝の読書 & 文化講演会

秋の読書週間行事の一貫として、1学期に引き続き「全校一斉朝の読書」が11月12日～24日の2週間実施された。朝の短い時間ではあるが、生徒達は静かに集中して読書していた。日頃忙しくて、なかなか読書の時間をとることができない生徒には、楽しい時間なのですぐに過ぎてしまうという感想や友人から本を紹介してもらう機会が持てたという生徒もみられた。また、本選びで悩んでいる生徒には本校で作った推薦リストである「読書の旅・羅針盤」を参考にするように呼びかけると多数の生徒が館内で本を探す姿が見られた。校内に読書の習慣化が着実に広がっているようだ。



11月27日、文化講演会に市川市の写真家・星野道夫氏のご夫人、星野直子氏を講師としてお迎えした。演題は「星野道夫と見た風景」。ご主人とアラスカとの出会い、写真家としての活躍の様子を丁寧な説明と魅力あふれる写真でご紹介してくださった。

数々のエピソードからは、星野道夫さんのプロとしての忍耐強い姿勢や、極北の動物に対する温かなまなざしが強く感じられた。質疑応答では、4人もの生徒が質問し講演の内容を深めた。星野道夫さんからの若者たちへの応援メッセージが心に響く。自分の夢、やりたいことは何かを考えさせられる貴重な時間であった。



11月の朝礼表彰より



【私の思い～中学生の主張～千葉県大会】

奨励賞
中学2年 浅野純音さん
(2105点応募、12人が本選出場)

【夏休み作品展校長賞受賞者】
(書道) 1A宮崎 奈美 3の1高木夏菜恵
(家庭科) 2E阿部 美里 2の1中墓里ノ桜
(社会科) 3B戸田 伶未 2の4牧野 大輔
(理科) 1F椎名 香織 1の1松波 友陸
(美術) 1L大澤いずみ 1の1松波 友陸

【市川市英語発表大会】

中1 暗唱の部
第2位 弓掛 玲奈

朗読コンテスト



第41回校内朗読コンテスト本選が11月24日(土曜日)、放送スタジオで行われました。19日(月曜日)の予選を通過した中学生12名・高校生17名が本選へと進みました。

第1位 三井田さん、青木さん

1位 青木 咲恵 (3の4)
2位 中川 結貴 (3の1)
3位 水溜 葉音 (2の5)
4位 吉田 千南 (1の3)
5位 正木 琴美 (3の5)
6位 白根 春奈 (3の1)

上位者は次のとおりです。

三井田 胡桃 (1K)
池田 花穂 (1J)
井上 慶子 (2B)
笹之池 真凜 (2F)
梅田 祐香 (1I)
阪本 裕香 (1A)
藤本 英明 (1F)

SHOWA GAKUIN

中2 職場体験



キャリア教育の一環として、今年も中学2年生の職場体験学習が11月21日(水)、22日(木)に行われた。例年は3学期に行われていたが、今年はインフルエンザ等に影響されないよう、2学期に実施したため、全生徒が参加することができた。

これまでの流れを振り返ると、1年生では、社会人になった本校の卒業生から職業に関する話を聞き、各種職業調べを行った。また、2年生の1学期には、興味関心のある職業についてPCなどを利用し

て調べ学習を行った。体験直前の2学期は「生徒主体の職場体験学習」をスローガンに計画をたて、ミーティングを重ねながら、しおりを作成するなど、生徒の委員会の充実を図った。

この2日間の職場体験学習では、生徒は真剣な眼差しで仕事に取り組み、楽しくもあり充実していた。また、学校では学べない社会の厳しさや働くことの大変さを学ぶことができた。

職場体験学習の終わった現在も引き続き、生徒の委員会を中心に、報告集や壁新聞の準備が進められている。事業所で生き生きと働く大人の姿や、体験の大変さ、喜びがどのように表現されるか、見守っていききたい。

キャリア教育で 生徒に身につけさせたい力

- (1)働く大人と出会い生き方を学ぶ力
- (2)自分を見つめ将来の進路を選択する力
- (3)コミュニケーション能力
- (4)達成する力
- (5)失敗しても、反省して改善していく力
- (6)社会や人に貢献することに喜びを感じる力
- (7)自ら考え主体的に行動する力



芸術鑑賞会



今年度の鑑賞演目は、「古典芸能～伝統と現代の調和～」と題したもので、江戸の伝統芸としての話芸や曲芸が行われた。

ひとりでも役も演じる出演者の話術は、思わず「さすが!」と思うほどの面白さであった。特に柳家さん喬師匠、林家正蔵師匠による噺の時は、絶え間ない笑いの渦に巻き込まれた。公演中、「落語は想像力を必要とする」とさん喬師匠が言っておられたが、なるほど知的なエンターテインメントであると納得させられる、そんな公演であった。

美術部

美術部は本年も文化祭の展示発表として模写壁画を制作し、玄関ホールに展示した。この模写壁画は高校3年生が作品を選び、中学1年生から高校3年生の全部員で3カ月という長い時間をかけ共同制作するものである。本年はルノワールの「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」。ルノワールは19世紀のフランス画家で「印象派」に属し、本作品は人々の幸せな情景を光に満ちた世界で描いたものである。模写をする上では、いかに全部員が共通して画家の筆使いや色合いを再現できるかが重要となるが、全員が連携を図り、声をかけ合うことで見事に実現することができた。作品は来年の夏まで展示される。ぜひ登下校の際は足を止め、作品を味わってもらえればと思う。



高2 進路説明会

高校2年生は10月13日(土)の4時間目、教室とセミナー室などを使い大学・短大・専門学校が22校集まり、それぞれ進路説明会が開催された。生徒たちは、事前にアンケートをおこない、自分の希望する学部や学科、大学・短大・専門学校など、各教室で話を聞いたり、質問したりしていた。生徒の感想では「学部について興味のあるお話があった」「将来の夢の視野が広がった」などがあり、熱心に話を聞いていた。

主な大学・短大・専門学校 國學院大学・淑徳大学・東洋大学・神田外国語大学・文教大学・千葉工業大学・日本体育大学・東京農業大学・東京工業大学・聖徳大学短大・昭和学院短大・武蔵野栄養調理専門学校・真野美容専門学校・新宿セミナーなど



吹奏楽部



吹奏楽部は今年の夏の千葉県吹奏楽コンクールで、2年連続「金賞」を受賞し、同時に念願であった東関東大会の出場も果たした。また、第5回全日本市民バンドフェスティバル(パリオホール)の出場が決まり、第22回日本クラシック音楽コンクールの全国大会(大阪府吹田市)に1E渡部七海(Sax)、第9回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト本選大会(埼玉県川越市)には3-1志村航天の出場が決まっている。そして、2月に行われる私学大会、3月に行う第3回チャリティーコンサートに向けても練習に励んでいる。このような活動が出来ているのも日頃から、各方面のご理解とご協力があってこそという感謝の気持ちを忘れずに、常に躍進していきたい。

SHOWA GAKUIN

海外教育研修

ホームステイ先がカナダに変更になって2年目となる。研修期間は23日間に延長され、参加生徒も計56名に増加した。56名の生徒は3つの班に分かれ、3名の教員（A班-矢口、B班-笹野、C班-本吉）が引率。A班は、バンクーバーから40キロ程度離れたラングレー周辺に、B班とC班は同じくメープルリッジ周辺に滞在。一人ひとりの生徒が、それぞれ異なるファミリーの元にステイしたが、当初の不安もどこ吹く風で、すぐに現地の生活に慣れたようだ。

各班はさらに3つのグループに分かれ、平日の午前中はネイティブの英語の先生による少人数授業が行われ、本場の英語に触れる絶



スタンレーパークにて(B班)

好の機会を得た。午後からは、班ごとに市庁舎訪問、スポーツアクティビティ、老人ホーム慰問、消防署見学などさまざまな活動が行われ、週末はファミリーと過ごす日程が組



消防署にて(C班)

分にとれたことで生徒は大満足であった。3週間余りという短期間ではあったが、生徒は数えきれない人々との出会い、知っている英語を使って言葉の交わすことができた。自分の英語が通じたときの喜びと現地の人々の琴線に触れたことは、何事にも代えがたい経験となったはずである。

まれた。プリティッシュコロンビア州の州都であるビクトリア市内見学では、往復のフェリーからの素晴らしい眺めと市内の整然とした街並みに皆が息をのんだ。自由時間も十



ビクトリア州議事堂にて(A班)

奨学会

千葉県私学振興大会参加

10月6日(土)幕張メッセ国際会議場において、千葉県私学振興大会が行われた。本校の奨学会役員を含め、県内私立学校の父母、教職員が多数参加し盛大な会となった。開会の辞、主催者代表挨拶、保護者代表意見発表、千葉県知事森田健作が来賓挨拶、そして最後に、次の大会決議4項目を採択し閉会となった。



熱気に満ちた振興大会会場

1. 千葉県教育振興基本計画を誠実に実行して全国に誇れる教育立県を目指すこと。
2. 私立・公立間の学費格差を是正して「保護者の経済的負担」を軽減すること。
3. 全国平均額を超える経常費助成を実現して「私学経営の健全化」を図ること。
4. 公立高校の規模の適正化を図るとともに私立高校との適正な配置を実現して、すべての私立高校が募集定員を確保できるようにすること。



来賓挨拶される千葉県知事

奨学会研修バス旅行



平成24年11月16日(金)、絶好の行楽日和のもと、恒例となった奨学会研修旅行が開催された。今回は中高奨学会役員を始め、参事の方、教職員を含め合計47名の参加者で実施された。当日は市川市役所前を出発し、京葉道路から館山自動車道に入り、「宮醤油工場」を見学し、その後「小泉酒造」を見学した後「きき酒コーナー」では、どの方も思い思いの酒を口に含み、その美味しさに酔いしれていた。昼食をはさんで午後のお目当ては、できて間もない「三井アウトレットパーク木更津」での買い物となった。どのご父母も大きな買い物袋を提げて、バスに戻ってきた。その後、「海鮮茶屋活き活き亭」での両手あさりつかみどりを体験し、帰路に就いた。帰りの車中で

は、毎回恒例のじゃんけん大会が行われ、豪華景品を狙ってどのご父母もたいへん盛り上がっていた。年1回の秋の研修旅行を通じて、また父母のつながりをより強固なものにしたようである。



SHOWA GAKUIN

インターハイ 2012北信越かがやき総体「君は今 希望とともに 緑の大地かけぬける」

今年のインターハイは新潟県・福井県等で7月28日から8月20日まで行われた。結果は、バスケットボール部女子がベスト4（第3位）、ソフトテニス部女子が団体ベスト8・個人3回戦、新体操部が団体10位、ハンドボール部女子が2回戦、体操競技部・水泳部女子はともに予選敗退だった。結果に悔いの残る部もある中で、バスケットボール部女子のメダル獲得は本校に明るい話題をもたらしてくれた。



▲ベスト4のバスケットボール部女子

結果に悔いの残る部もある中で、バスケットボール部女子のメダル獲得は本校に明るい話題をもたらしてくれた。

【Voice】 高校バスケットボール部女子 監督 鈴木 親光

過去に幾度も対戦した桜花学園戦は、桜花ペースだった前半から後半昭和がリズムを掴み反撃に転じた。逆転できなかったものの、相手を追い詰めることは出来た様に思う。3位の結果は選手たちにとって自信になったので、初心に戻り、再び桜花と戦えるよう頑張りたい。



▲キャプテンの西澤のプレー

全国中学 平成24年度全国中学校総合体育大会「感動躍動ここにあり 関東平野の大舞台」



▲団体準優勝したソフトテニス部女子

8月17日から24日まで関東各地を舞台に今年も全国中学校総合体育大会が行われ、本校は新体操部、バスケットボール部女子、ソフトテニス部、水泳部が出場を決めた。結果は、新体操部が4位入賞、バスケットボール部女子はベスト8、ソフトテニス部は個人

男女出場・団体男子2回戦、女子準優勝となり、水泳部は女子個人で4位、6位入賞・男子8位入賞・女子リレーで5位、2位・女子総合2位に入賞した。



▲女子総合で2位となった水泳部（リレー）

【Voice】 中学ソフトテニス部 監督 高原 良江

全中は大嵐と雷の開会式のもと始まった。個人戦は早々に敗退。団体戦は全員で気持ちを一つに笑顔とパワーと「一球入魂」で臨み、一試合ずつ気負いもなく、全力でぶつかることができた。選手・応援・保護者と、支えてくださった方すべての力に感動をいただいた。「感謝」

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会「輝け はばたけ だれもが主役」

9月29日から10月9日まで「第67回国民体育大会」が、また10月13日～15日まで「第12回全国障害者スポーツ大会」がそれぞれ岐阜県各地で行われ、本校から千葉県代表として、新

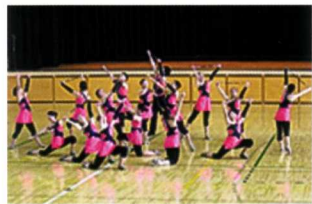


▲本校選手主体の新体操競技チーム

体操部、体操競技部、水泳部の選手が出場した。結果は新体操競技が少年女子個人3位・総合6位、体操競技が少年女子団体総合5位に入賞。また水泳競技では森下友紀さん(1C)が障害者スポーツ大会に個人2種目の出場、ともに大会新記録を樹立して1位となった。障害者スポーツでも新たな活躍が見られるようになった。今後も期待したい。

中・高バトン部・高校バスケットボール部女子 全国大会出場

○中学・高校バトン部：12月8日千葉市・幕張メッセイベントホールで行われた第40回記念バントワーリング全国大会に2年連続中高で出場した。厳しい練習を仲間と助け合って乗り越え感謝の気持ちをもって臨み、結果は中学銀賞、高校銀賞となった。更なる活躍が期待できるだろう。



▲高校バトン部

○高校バスケットボール部女子：12月23～28日 広島県広島市・県立総合体育館で行われるウィンターカップ2012に出場する。

キャプテン：西澤瑠乃さん(3H)「自分達らしいプレーで顧問の先生や仲間を信じて最後まで戦います。今までのすべて出し切って、ベストを尽くせるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。」

SHOWA GAKUIN

中高等学校説明会

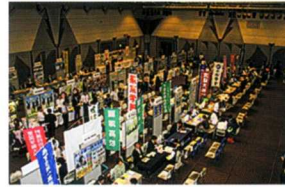


第2学期は9月15日の中学校説明会に始まり、12月まで中高それぞれ各5回ずつ学校説明会を実施した。どの回も参加者が多く、本校への関心の高さを知ることができる。

また入試相談も盛況で、熱心に個別相談する親子の姿が多く見られた。

私学フェア in 幕張

今年の私学フェアは9月23日(日)午前10時～午後4時まで、会場は昨年と同様に幕張メッセの「国際会議場」において、県内すべての私学58校が一堂に集まり「2012千葉県私学フェア」と題して開催された。入場は無料でたいへん盛況であった。会場内は展示ブースと相談コーナーが設けてあり、私立中学校も24校が参加し私立小学校コーナーも併設し本校を含め9校が参加した。また、「失敗のない高校の選び方」をテーマに3回のセミナーが開催されたり、会場内には多くの受験生や父母が訪れ真剣なまなざしで学校の説明などに耳を傾けていた。



中学校 第1回入試



去る12月1日(土)に中学校第1志望入試が本校で実施された。寒さが増して気温が低くなる中、あどけない顔の受験生が緊張した様子で国語と算数の2科または社会・理科を含めた4

科に2分程度の面接を加えてチャレンジした。当日は募集人数の60名をはるかに上回る受験生で開始された。合格発表は翌日午前10時より本校の校内掲示板に掲載され喜びのあまり涙を流す子も見られた。また、ホームページからでも確認ができるようになっているが、多くの子は自分の目で受験番号を確認し合格証書を手にして感激していた。

社会科研究集会

平成24年度第24回千葉県私学教育研修集会「地歴公民科」研修会が、11月9日(金)に本校で開催された。千葉県内から42校、50名の先生方が参加された。

開会式では、運営委員長の井上俊彦校長先生のご挨拶と、千葉県私立中学高等学校協会代表、不二女子高等学校理事長・校長の奥野木正彦先生(副会長)から研修会の趣旨についてお話を頂いた。今回は、渡辺・西岡・神山の各先生方、中3公民・高1地理・高3日本史の公開研究授業を行って頂き、終了後、活発に研究討議が行われた。午後より講師の宮原武夫先生による講演会が行われ、有意義な研修会を終了した。



平成25年度 入試要項

中学校	第2回(一般入試)	第3回(一般入試)	第4回(一般入試)
募集人数	(男女)30名	(男女)20名	(男女)10名
窓口出願期日	平成25年1月10日(木)～1月17日(木)	平成25年1月18日(金)～1月24日(木)	平成25年1月28日(月)～2月6日(水)
入試日時	1月20日(日)午前8時30分	1月25日(金)午前8時30分	2月7日(木)午前8時30分
入試科目	①4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)	①4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)	①2科 国語・算数 各50分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)
合格発表	1月21日(月) 午前10時	1月26日(土) 午前10時	2月8日(金)午前10時
入学手続	1月21日(月)・22日(火) 23日(水)・24日(木)	1月28日(月)・29日(火) 30日(水)・31日(木)	2月8日(金)・9日(土) 12日(火)・13日(水)

高等学校	前期選抜試験				後期選抜試験	
募集人数	(男女)160名+(臨時増40名)=200名				(男女)20名	
窓口出願期日	平成25年1月4日(金)～1月11日(金)				平成25年1月26日(土)～1月31日(木)	
入試	A推薦	B推薦	C推薦	特進(特待生)入試	一般入試	
志望	第1志望	第2志望	第1志望	問わない	第1志望	問わない
入試日時	1月17日(木)午前9時	1月17日(木)又は1月18日(金)両日とも午前9時	1月17日(木)午前9時	1月18日(金)午前9時	2月5日(火) 午前9時	
入試科目	面接(個人)	①「英・数」又は「英・国」1科目(40分) 英語リスニングテストなし ②面接(個人)	①一般常識試験(40分) ②面接(個人)	①「英・数・国」1科目(50分) 英語リスニングテストあり ②面接(個人)	①「英・数」又は「英・国」1科目(40分) 英語リスニングテストなし ②面接(個人)	①「英・数・国」1科目(50分) 英語リスニングテストあり ②面接(個人)
合格発表	1月18日(金)午前10時	1月18日(金)又は1月19日(土)両日とも午前10時	1月18日(金)午前10時	1月19日(土)午前10時	2月6日(水)午前10時	
入学手続	平成25年1月18日(金)～1月24日(木)				平成25年2月6日(水)～2月9日(土)	